令和4年度用

市出資法人
団体自己評価（自己評価シート）

団体名：伊賀森林組合

所管部課名：産業振興部　農林振興課

団　体　名	伊賀森林組合　　[企業会計用]

【経営基本情報】

○団体の基本情報

所　在　地	三重県伊賀市ゆめが丘七丁目7－1				
ＨＰアドレス	http://www.igasinrin.jp				
電話番号	0595-24-4884	ＦＡＸ番号	0595-24-5990		
代　表　者	代表理事組合長　村上　靖尚	設立年月日	平成8年4月1日		
市所管部等	産業振興部　農林振興課	市出資額	17,915 千円	市出資割合	32.64 %
団体の目的	伊賀市の森林の保続培養及び森林生産力の増進を図る。				

○主な事業内容

[事業規模]　　（単位：千円）

事業名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
(1) 森林整備事業	228,174	288,214	268,234	
全事業合計に占める割合	98.78%	98.41%	99.41%	
(2) 指導事業	0	0	0	
全事業合計に占める割合	0.00%	0.00%	0.00%	
(3) 加工事業	2,824	4,647	1,598	
全事業合計に占める割合	1.22%	1.59%	0.59%	
(4) (1)～(3)以外の事業	0	0	3	
全事業合計に占める割合	0.00%	0.00%	0.00%	
全事業合計	230,998	292,861	269,835	

[事業の概要]

(1) 森林整備，治山，林道，公園整備，調査，山林伐採，宅地草刈

(2) 地域振興，指導，情報

(3) 加工品販売

(4) 林産品販売

○財務概況　　（単位：千円）

				令和2年度	令和3年度	令和4年度
正味財産増減計算書	売上高 (a)			230,998	292,860	269,835
	売上原価 (b)			166,467	217,753	182,181
	販売費・一般管理費 (c)			60,826	61,797	64,778
	営業損益 (d)＝(a)－(b)－(c)			3,705	13,310	22,876
	経常損益(営業損益＋営業外収益－営業外費用)			6,196	14,263	23,458
	当期純損益(経常損益＋特別利益－特別損失－法人税等)			7,899	11,891	17,834
貸借対照表	資産			214,514	231,504	291,615
		負債 (e)		37,166	42,660	84,916
			資本金(基本金) (f)	55,289	54,884	54,894
			剰余金(累積欠損金)等 (g)	122,059	133,960	151,805
		純資産 (h)＝(f)＋(g)		177,348	188,844	206,699
	負債・純資産合計 (i)＝(e)＋(h)			214,514	231,504	291,615

団体名	伊賀森林組合	[企業会計用]

○財務に関する主な指標

	指　　標	計　　算　　式	令和2年度	令和3年度	令和4年度
安定性	自己資本比率	純資産／(負債＋純資産)	82.67 %	81.57 %	70.88 %
	流動比率	流動資産／流動負債	706.13 %	583.07 %	298.78 %
	借入金依存率	借入金残高／(負債＋純資産)	6.48 %	5.14 %	3.39 %
収益性	売上高営業利益率	営業利益／売上高	1.60 %	4.54 %	8.48 %
	総資産経常利益率	経常利益／資産合計	2.89 %	6.16 %	8.04 %
効率性	人件費比率	人件費／売上高	20.66 %	16.72 %	19.63 %
	管理費比率	販売費・一般管理費／売上高	26.33 %	21.10 %	24.01 %

○役職員の状況　　(※派遣職員は含まない)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備　　考
常勤役員		1 人	1 人	1 人	R4平均年齢:　　歳
	うち市退職者	1 人	1 人	0 人	R4平均年収:　　千円
常勤正規職員		10 人	7 人	9 人	R4平均年齢: 37.2 歳
	うち市退職者	0 人	0 人	0 人	R4平均年収: 4,189 千円
その他職員		0 人	0 人	0 人	
	うち市退職者	0 人	0 人	0 人	

○市からの財政的支援など　　(単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
委託料	49,653	46,695	92,624
補助金・助成金	9,630	10,614	11,513
負担金	0	0	0
借入金(期中に借り入れた額の合計)	0	0	0
その他市支出金(追加出資額等)	0	0	0
計	59,283	57,309	104,137
借入金残高(期末残高)	0	0	0
債務保証額(期末残高)	0	0	0
損失補償限度額	0	0	0
損失補償契約に係る債務残高(期末残高)	0	0	0

○団体の目標達成状況等

●中・長期経営計画の策定の有無

有	■	計画期間	令和3年4月1日～令和13年3月31日	策定予定時期	
無	□				

●中・長期経営計画による目標及びその達成状況

目　標	自己資本比率 60%以上を維持する。
実　績	令和4年度末期 71%(目標達成)

●年次事業計画による達成目標

令和4年度 目標	自己資本比率60%以上、SDGs宣言、ホームページ開設
令和4年度 実績	自己資本比率71%、SDGs宣言(11/22理事会決議)、ホームページ開設(9/1開設)
令和5年度 目標	自己資本比率60%以上、黒字決算

団　体　名	伊賀森林組合

団体自己評価結果

A（90%～100%）：良好な事象や傾向がみられる
B（60%～89%）：やや良好な事象や傾向がみられる
C（30%～59%）：改善を要する
D（0%～29%）：大いに改善を要する

	比　率	評　価
目　的	94 %	A
事　業	64 %	B
経営計画	85 %	B
経営状況	96 %	A

団体自己評価表

1．目的に対する評価

		比率	94 %	評価	A	回 答 欄
1	団体の目的は現在でも社会的要請があるか					①
2	民間企業等が事業の実施主体となることは不可能か					①
3	市との役割分担を踏まえ、団体で実施するメリットがあるか					①
4	事業内容は目的に対し意義・効果が認め られるか					①
5	団体が設定している目標は、目的や行政目的の達成に寄与する指標となっているか					②
6	社会経済状況に応じ経営改善に取り組んでいるか					①
7	市民に対し情報公開・情報提供しているか					①

2．事業に対する評価

		比率	64 %	評価	B	回 答 欄
1	団体の事業全体について、成果は十分に上がっているか					①
2	事業毎に目標を設定しているか					①
3	目標の達成状況を評価・活用しているか					②
4	顧客ニーズ及び顧客満足度を把握しているか					③
5	顧客からの問い合わせ、意見等への対応は適切か					②
6	内部統制は十分に実施されているか					①
7	危機管理体制は十分に整備されているか					②
8	組織体制は十分に整備されているか					②
9	管理費比率及び人件費比率は適正か					③

3．経営計画に対する評価

		比率	85 %	評価	B	回 答 欄
1	経営基本方針等を定め、役員・職員に浸透しているか					②
2	中長期経営計画を策定し、運用しているか					①
3	外部環境、経営資源を把握、評価し、中長期経営計画に盛り込んでいるか					①
4	中長期経営計画と実績との差異を分析し、計画を見直しているか					①
5	年次事業計画と実績との差異を分析し、改善しているか					②
6	中長期経営計画、年次事業計画は市の方針を反映したものとなってしているか					②
7	計画目標達成のため、人材育成・能力開発を行っているか					①
8	計画の実施にあたり、進捗管理の体制が十分に整備されているか					①

4．経営状況に対する評価

		比率	96 %	評価	A	回 答 欄
1	収支の状況は健全であるか					①
2	累積欠損金が発生していないか、債務超過ではないか					①
3	財務基盤についての指標は適正か					①
4	収益における市への依存度は適正か					①
5	総資産当期経常増減率は適正か					①
6	開発用不動産等及び有価証券等の含み損益を把握しているか□					①
7	債権管理は十分か					①
8	借入金は返済可能か					②
9	基本財産や運用財産を適正に運用しているか					①
10	必要な額の特定資産（引当金）が設定されているか					①

※ 回答　①＝5点　②＝3点　③＝1点　④＝0点とし各部門ごとに比率を算出しています。
比率＝（合計点）／（総回答数×5点）×100

団　体　名	伊賀森林組合

《団体自己評価コメント》

目　的	森林組合法に定める団体であり、社会要請に応じた目的を持ち事業を行っている。 SDGs宣言を発し、森林整備を通じた自然資源の保全と持続可能な林業とまちづくりに取り組んでいる。 ホームページを活用し、広く組合活動を情報発信する。
事　業	集約化施業の推進を中心に伊賀市の森林整備と林業振興に寄与している。この取組みは森林経営管理制度と相まって特に条件不利地における森林整備推進の中心的役割を果たすものと考えられる。管理森林面積の拡大に対応するためデジタル情報を活用した効率的かつ精度の高い森林資源管理手法「スマート林業」を推進している。 また、伊賀市未来の山づくり協議会においても協力体制を築いている。
経営計画	地域森林の適切な利用・保全と林業経営の更なる発展に向けて、令和12年度を終期とした「伊賀森林組合ビジョン2030」を策定し、令和4年度の目標を達成した。この計画では、伊賀市と連携した地域森林管理体制の確立や森林経営管理制度の円滑な推進における伊賀市への積極的な協力などが定められている。
経営状況	財務基盤の強靭化と事業の拡大により収益を増加させ、平成29年度をもって賦課金制度を廃止した。 13期連続の黒字決算、自己資本比率71%となっており安定した経営が続いている。
総括コメント	提案型施業、環境林整備事業などの所有者負担のない集約化施業を強力に推進し、林業再生と環境整備の両立を目指している。 森林経営管理制度の推進について、伊賀市と連携して取り組んでいく。 経営の安定化と業績の向上に努め、信頼ある森林組合づくりを実践していく。

【市の審査及び評価結果】

空白：団体自己評価結果と概ね同じ評価

＋：団体自己評価結果に比べて高く評価（良好な点が認められる）

－：団体自己評価結果に比べて低く評価（課題が認められる）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度コメント
目　的	団体自己評価	B	B	A	森林組合法で定めるところにより適正である。
	市の評価				
事　業	団体自己評価	B	B	B	条件不利地における森林整備の中心的役割を果たしている。林業適地における森林資源を活用した積極的な事業展開をしていく必要がある。
	市の評価	－			
経営計画	団体自己評価	A	A	B	令和12年度を終期とした経営計画を策定し、令和4年度の目標を達成した。
	市の評価	＋			
経営状況	団体自己評価	A	A	A	13期連続の黒字決算となっている。
	市の評価		＋		

《市の総括コメント》

林業従事者の高齢化及び担い手不足や森林精通者の減少も進んでいる為、森林境界明確化及び集約化施業を推進し、条件不利地における森林環境整備と、林業適地における生産性を高めた林業経営に積極的に取り組まれたい。また、森林経営管理制度の推進を含めた伊賀市未来の山づくり協議会における事業推進を行政と連携を図り取り組まれたい。